

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 総合性能評価システム 名古屋版 (2016年改訂) ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンス上前津1丁目(1512)新築工事	階数	地上15F
建設地	愛知県名古屋市中区上前津1丁目1511、1512、1513、1514、1515、1516、1517	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	240 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年2月1日
敷地面積	1,109 m ²	作成者	
建築面積	652 m ²	確認日	2024年2月1日
延床面積	8,051 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 97% ③上記+②以外のオンサイト手法 97% ④上記+オフサイト手法 97%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 省エネに配慮した。</p>	<p>その他 特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を使用し化学汚染物質の発生を抑制した。</p>	<p>Q2 サービス性能 維持管理において管理しやすい壁材、床材を使用した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り植込みを設け草木を植樹した。</p>
<p>LR1 エネルギー LED照明及び省エネ設備機器を採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水に配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境 地球温暖化への配慮をした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)プレサンス上前津1丁目(1512)新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.2
LR1	エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.2
2. 自然共生	評価点 = 2.3
3. 循環型社会	評価点 = 3.0

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。